

### 「市民に期待すること」について

～ 市民会議で検討してもらうのにあたっての説明～

- ・ 「市民に期待すること」とは、日常生活において具体的に市民のどんな行動が施策の「めざす姿」の実現につながっていくかといった日常生活の中でもできる内容を考えています。
- ・ また、この計画は多くの市民が読んだ時に、書いてあることが自分の日常生活にとって身近なことに感じ、想像しやすくわかりやすい表現にしたいとも考えています。
- ・ その点からも、市民の行動レベルの高さ、低さというものではなく、読んだときに、多くの市民が確かにこうしたことをすれば、「めざす姿」で示すような様子になっていく、こうしたことは大切だな、これなら自分もできるし、していくべきかなと感じられるようなことを例示していきたいと思います。
- ・ きっかけは、そうしたちょっとした日常的な市民の行動であっても、その広がりが人と人とのつながりを生み、安心してらせる、住みよい地域を作っていくのだと思います。ですから、こうした視点で市民である皆さんの意見を参考にお聞かせ願いたいのです。
- ・ たとえば、「施策 10 人とひとが支え合う地域福祉の推進」では、地域の幅広い世代のさまざまな人が交流し、高齢者をはじめとした誰もがいきいきと安心して暮らしている様子が描かれています。そうした社会では、近所の人たちが挨拶をしたり、会話を交わす、こうしたことが話すきっかけとなり互いを思いやったり、困っている高齢者へのちょっとした手助けにつながったりします。また、自分のちょっとした手助けを喜んでくれたことに嬉しさを感じられることもあるかもしれません。
- ・ また、ちょっと勇気を持って、地域のイベントに参加してみたら、たわいのない会話から住んでいる地域にどんな課題があるかをたまたま知り、自分がサラリーマン時代に社会人として培ってきた経験が活かせるきっかけになったなど。
- ・ こうしたイメージで考えた「市民へ期待すること」の例が、
  - ・ 交流の輪への参加
  - ・ 地域での声かけや安否確認
  - ・ 地域福祉活動への関心や理解
  - ・ 地域福祉イベントや興味のあるボランティア活動への参加
  - ・ 自分の知識や経験、体力などを活かしたちょっとした手助けなどです。こうした視点でいろいろご発言いただければと思っております。